

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

オープンキャンパスに行き、体験授業を受けたり学部紹介などを聞いて自分のしたいことのできる大学は同志社女子大学しかないと思ったからです。

校舎がレンガ造りで格好良いなと思ったことも決めた理由の一つです。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

ひたすら基礎を固めました。高校で行われる小テストや定期テストの勉強に今までより力を入れました。短い時間でも単語帳や参考書を見る癖付けを行いました。分からない問題もそのままにせず、できるだけ先生に聞くようにしていました。日本史に関しては一度1,2年生で習った範囲をもう一度確認し直していました。英語の発音にも注意していました。

〔夏休み〕

予備校の自習室に通い、日本史と英単語、古典単語を主に勉強していました。

1ヵ月間の予定を組むのではなく1週間の予定を組み、必ず7日間のうち2日は計画が上手くいかなかったときのための調整日をいれて目標の範囲を終わらせられるようにしていました。英単語、古典単語は前日に覚えた所をもう一度復習してから当日の分に進むことを心掛けていました。

〔2学期～入試直前〕

放課後高校に残って赤本を使って勉強することが多かったです。分からなかった所はすぐに先生に聞きに行くようにしていました。赤本を解くことで自分が苦手とする分野が見えてきたので、その分野を勉強するための参考書やプリントを先生から頂いたりもしました。授業中は、その科目に集中して、現代文なら授業で学ぶ文章の作者が書いた本は他に何かあるのかやどの時代に活躍していた人なのか、同年代で有名な文豪は誰がいるのかなど色々なことを結びつけて考えるようにしました。入試直前は新しい問題を解くのではなく、今までに解いた問題を見直したり間違えた問題をもう一度解いたりしました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

高校の行事の時は行事に集中していました。ただ、切り替えを大切にしておいて行事の準備以外の時間や終わったからの時間はできるだけ単語帳を見たりしていました。健康面では体調が優れない時は無理せず休むようにしていました。あと睡眠時間はしっかりとっていました。

スマートフォンに少し依存していたので、いきなり全く使わなくするのではなく1時間半勉強したら15分休憩で使えるようにしたり集中力が切れた時は息ぬぎのために音楽を聴いたりしました。SNSはアプリを削除して必要な時にはブラウザからログインするようにしていました。スランプの時は同じ大学を目指す友達と話したり大学のHPを見ていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

「受験生」という言葉に苦しめられて毎日勉強だらけの日々だと思います。私も途中でもう諦めてしまおうかと何度も思いました。そんな時は夢のキャンパスライフを想像してみてください。時には休憩も必要だし、日くらい趣味に没頭してもいいと思います。ただ、この大学に入りたい!という気持ちを忘れずに最後まで諦めないで欲しいです。頑張れ!!